

環 境 報 告 書

令和8年 8月報告

ふりがな	ふじこむてつく かぶしきがいしゃ		認定 ランク	三つ星（☆☆☆）
事業所名	富士コムテック 株式会社			
認定部門	☒ ゼロカーボン推進部門 ☒ ごみ減量推進部門 ☒ エコ・コミュニティ部門			
概 要	所在地	〒390-0852 長野県松本市島立 1 1 3 2 番地 2 6		
	代表者名	代表取締役 宮尾 文夫		
	事業規模 (主な事業内容 ・従業員数)	・ 事業内容：【情報・通信システム販売／電気通信工事業／ 消防施設工事業／電気工事業など】 ・ 従業員数：全社 38 名（松本 18 名）		

○ 環境に配慮した取組みの内容

環境に対する理念・方針	会社経営方針をもとに全社員が地球環境問題に取組み、以下の指針に従いその目標達成に向けて継続的改善に努める 1. 事業活動において関連する環境の法規制やコンプライアンスを遵守する 2. 当社の事業活動(特に電気通信工事等)が環境に与える影響を考慮し、またエネルギー使用量など環境データを常に測定し、CO2 削減などその改善計画を策定し、実行する。 3. 環境経営方針は全社員に周知し、定期的な教育を行い、環境意識の向上に取組み、環境経営の継続的改善を行います。
環境に関する取組目標	別紙1 環境経営目標を参照ください(エコアクション 21 レポートより)
具体的な取組内容	別紙2 環境経営計画を参照ください(エコアクション 21 レポートより)
実施結果(成果)	別紙3 環境を経営目標の実績と評価 1)を参照ください (エコアクション 21 レポートより)
課題・問題点と その改善に向けた取組み	別紙3 環境を経営目標の実績と評価 2)を参照ください 別紙4 経営者の全体評価と見直し・指示を参照ください (いずれもエコアクション 21 レポートより)
その他、 アピールポイント等	1)「長野県 SDGs 推進企業」に登録し、活動を推進中 2)「eco オフィスマつもと」認定ランクアップに向けて活動推進中 3)「諏訪湖クリーンプロジェクト」に参画 4)「残さず食べよう! 30・10 運動」の実践

【別紙1】 環境に関する取組み目標

環境経営目標

今年度（2025年度）と中長期の目標

（2024年実績を踏まえ、2025年今年度とその後の中長期目標を示す）

目標設定：2025年2月25日

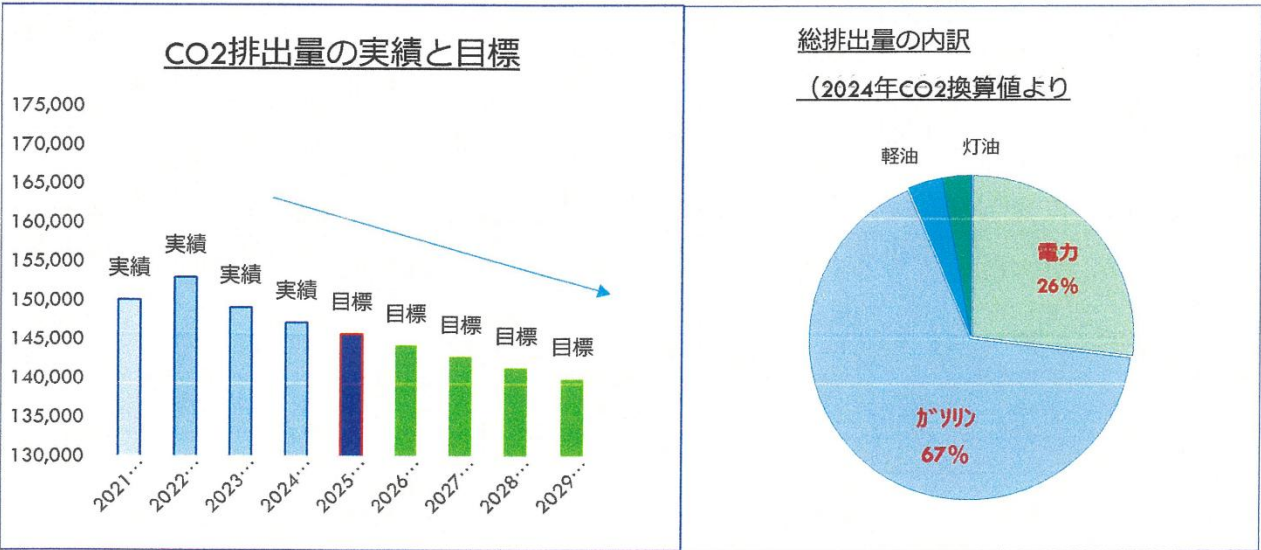
期間：毎年度 2/1～1/31

項 目	単 位	これまでの実績				今年度 目標	4年間 中長期目標 ⇒					備考
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度		
二酸化炭素削減	CO2排出量	kg-CO2	150,080	152,983	149,086	147,144	145,673	144,216	142,774	141,346	139,933	
		(%)	91%	102%	98%	98%	99%	99%	99%	99%	99%	
	電力(注)	kWh	90,454	88,314	83,782	87,979	86,770	85,902	85,043	84,193	83,351	重要ポイント
	ガソリン	ℓ	42,675	43,796	43,664	42,334	41,911	41,492	41,077	40,666	40,259	重要ポイント
	軽油	ℓ	2,357	2,715	2,287	1,950	1,931	1,911	1,892	1,873	1,854	
	灯油	ℓ	1,641	1,781	1,605	1,711	1,694	1,677	1,660	1,644	1,627	
	プロパンガス	kg	7.20	6.20	7.10	7.40	7.30	7.23	7.15	7.08	7.01	長野のみ
廃棄物	一般廃棄物	kg	384	364	372	373	369	364	364	364	364	
	産業廃棄物	kg	16,380	13,374	7,514	8,607	8,521	8,436	8,351	8,268	8,185	
水削減	水使用量	m³	612	678	536	502	497	492	487	482	477	
		(%)	109%	110%	79%	93%	99%	99%	99%	99%	99%	
化学物質	－	業務上、使用していない										
環境に配慮した施工	・施工に使用する資材をECO対応製品の使用を優先する ・作業上での廃棄物削減に務める											
	2020年7月より取組み	ISOの施工品質計画書に盛り込み実施				その件数を増加させる（前年比102%目標						
グリーン購入		資材や事務・消耗品などの購入はグリーン購入に配慮する										
地域環境活動への参画		松本市	松本市、諏訪市	松本市、諏訪市	積極的参画を検討する							

注) 中部電力(株) 2018年度 二酸化炭素調整後排出係数 0.452kg-CO2/kWhを使用

注) ▲ …前年比減少（改善） ▼ …前年比増加（検討を要す）

上表より



重要ポイント：総排出量の92%をガソリン／電力が占めている！

【別紙2】 具体的な取組み内容

環境経営計画

1) 計画（実施内容・手段・推進ポイント/検証・責任者など）

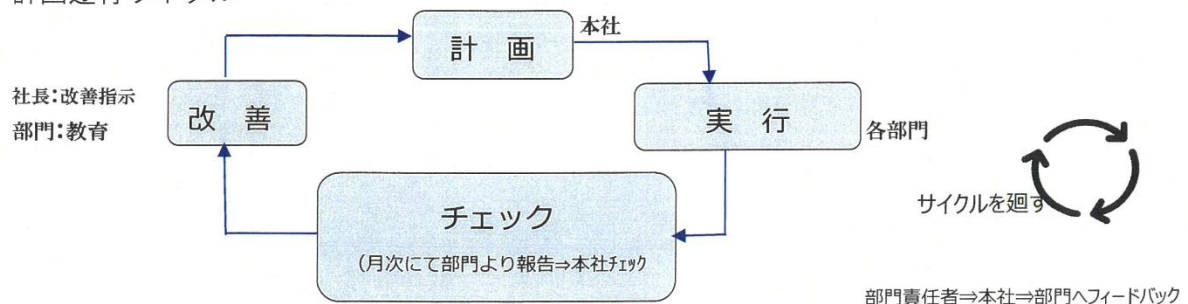
期間：2025年2月1日～2026年1月31日

計画項目			手段（実施の具体的方法）	推進ポイント・検証	責任者
CO2・二酸化炭素排出量削減について	電気使用量の削減	節電の徹底	→ 事務所内…外出時／不在時の消灯徹底する	各部門の電力使用量を月次にて把握し、部門にフィードバックし、削減活動を促す	部門責任者⇒管理責任者
			→ 事務所／倉庫の不要照明・不要換気扇オフ		
		OA機器適正管理	→ 未使用時電源オフ・節電モードの徹底		
		エアコン温度管理の徹底	→ 夏季：26℃～28℃／冬季：18℃～22℃の徹底		
		エアコン・ヒーター使用の管理	→ 不要部分の空調停止、ブラインドなどにより熱の遮断		
		退社時電源チェック	→ 目視確認により、不要電気・空調の停止		
		クールビズ／ウォームビズの徹底	→ クールビズ：毎年5月から10月まで実施 ウォームビズ：11月より3月		
	ガソリン／軽油使用量の削減	エコドライブの実施	→ 急発進・急停止排除、経済速度の励行	各車両ごとの管理表より管理状況と燃費のデータを集計し、運転管理者にフィードバックし、削減活動を促す	部門責任者⇒管理責任者
		アイドリングストップの実施	→ エンジン停止、空ふかし排除		
		運行車両の削減	→ 乗り合わせなどにより運行車両を減らす		
		車両管理の徹底	→ 車両点検、適正空気圧、エンジンオイル等の管理		
		運行管理の徹底	→ 最適運行／最短距離の選択		
	灯油使用量の削減	ストーブ温度管理の徹底	→ ムダなストーブを使用しない（冬季20℃～22℃	冬季のみ	部門責任者
		退社時電源チェック	→ 目視確認（最終退出者と同伴者）		
	廃棄物の削減	一般廃棄物削減	→ 無駄なコピーをしない／不要な資料の削減	常時監視	部門責任者
			→ 簡易包装、梱包資材の削減・簡易化の促進		部門責任者
産業廃棄物の分別		→ 産業廃棄物と有価物の分別を確実に行う	部門責任者		
水使用量の削減					
節水の徹底			→ 清掃時、手洗い時節水を各自徹底する	常時監視	部門責任者
環境に配慮した施工					
自らが提供する製品・サービスの環境性能の改善			→ 施工技術などの環境性能の改善	エコ資材の取り入れ促進	部門責任者
グリーン購入					
環境に配慮した製品の優先利用			→ 社内利用の資材は、環境配慮製品を優先利用	購入・更新の都度検証する	本社／部門
地域環境活動への参画					
関係する地域の環境活動への参画			→ ・エコオフィスまつもとへの参画 ・諏訪湖クリーンプロジェクトへの参画	継続活動とその他の活動を検討し、参画する	社長

注)

2) 計画遂行サイクル

注) 各項目の実施については、ISO9001の活動とあわせ以下のとおり管理／推進する



【別紙 3】 1)実施結果(成果) 2)評価(課題・問題点など)

環境経営目標の実績と評価

1) 目標及び計画に対する実績

1) 目標及び計画に対する実績						2025年2月1日～2026年1月31日					
項目		単位	2022年	2023年	2024年	2025年度 目標値 →		2025年度 実績		評価	備考
						前年比	達成率				
CO2総排出量 (kg-CO2)		kg-co2	152,983	149,086	147,144	99%	145,673	89.8%	130,792	○	前年比、2%削減
電力 (kWh)	使用量	kwh	88,314	83,782	87,646	99%	86,770	95%	82,505	○	削減活動効果あり
	排出量	kg-CO2	39,918	37,869	39,616		39,220		37,292		
ガソリン (L)	使用量	L	43,796	43,664	42,334	99%	41,911	86%	35,944	○	大幅削減
	排出量	kg-CO2	101,607	101,300	98,215		97,234		83,389		
軽油 (L)	使用量	L	2,715	2,287	1,950	99%	1,931	114%	2,206	×	削減ならず
	排出量	kg-CO2	7,005	5,900	5,031		4,982		5,691		
灯油 (L)	使用量	L	1,781	1,605	1,711	99%	1,694	104%	1,761	×	削減ならず 冬季のみ（事務所）
	排出量	kg-CO2	4,435	3,996	4,260		4,218		4,384		
プロパンガス (kg)	使用量	kg	6.2	7.1	7.4	100%	7.3	167%	12.2	×	使用は長野のみ
	排出量	kg-co2	19	21	22		22		37		
廃棄物	一般廃棄物	kg	364	372	373	100%	369	100%	383	×	
	産業廃棄物		13,374	7,514	8,607	99%	8,521	90%	7,708	○	
上下水道 (㎡)	水使用量	㎡	678	536	502	99%	497	68%	336	○	削減
環境に配慮した 施工	施工物件ご と	件	月次にて取 組み検証を 行う	月次にて 取組み検 証を行う	月次にて 取組み検 証を行う	活動	月次にて取 組み検証を 行う	今後、実施状況を数値化す ることを検討する			検討を要す
グリーン購入		件	取組推進	取組推進	取組推進	推進（一覧表管理）		推進（一覧表管理にて更に 推進			継続活動
地域環境活動への参画		件	松本市 諏訪市	松本市 諏訪市	松本市 諏訪市	・松本市エコオフィス ・その他検討		・松本市エコオフィス ・諏訪湖クリーンプロジェクト			継続活動

※1、中部電力㈱ 2018年度二酸化炭素調整後排出係数 0.452kg-C02/kWhを使用

2) 実績の評価 (2025年2月1日～2026年1月31日)

<総括的>

C02総排出量を大幅に削減することができた。当社のC02総排出量の70%近くを占める、ガソリンの消費が大幅に減ったことが全体の総C02排出量削減となって表れた。車輛の使用条件変化によるものと思われる。

(1) 電力

電力使用量は、5%削減できた。削減活動の効果であると思われる。

…次ページ月別参照

(2) ガソリン、軽油

①車輛の稼働状態の変化（遠隔地への移動減少）などにより大幅なガソリン使用量削減となった
②個々の車輛の燃費管理を行いそれをフィードバックしたことが燃費削減につながった。

…次ページ月別参照

(3) 灯油

冬季での暖房への使用が中心であるが、使用量増加となった。

(4) 廃棄物

一般廃棄物は増加、産業廃棄物が減であった、排出量の削減となるよう取組みを見直す。

(5) 上下水道

活動効果により削減

(6) 環境に配慮した施工

ISO9001（施工品質計画書）に取り込み、月次での活動検証を実施しているが、取組みを更に増加させ、改善していく必要がある

(7) グリーン購入

事務・消耗品ならびに印刷物など環境に配慮した材質／製品に順次切替を実施している

(8) 地域環境活動への参画

継続して、松本市「エコオフィスまつもと」に加え、諏訪湖クリーンプロジェクトに参画した。

【別紙 4】 その改善に向けた取組み

代表者の全体評価と見直し・指示

項目			評価の内容	
全体評価	環境への取組みは適切に実施されているか		年間でのCO2総排出量が前年比大幅削減となった。 全般的には適切に取り組まれている	
	環境経営システムが有効に機能しているか		月次での管理状況も踏まえ、システム全体として問題なく有効に機能している	
対象			変更の有無	
見直しと指示事項	組織の概要		☐ あり / ☒ 無	最新情報掲載
	環境経営方針		☐ あり / ☒ 無	本年変更なし
	リスクと機会		☒ あり / ☐ 無	環境経営計画作成時、毎回見直しを行い、社内周知した
	適用範囲など		☐ あり / ☒ 無	本年変更なし
	環境経営目標		☒ あり / ☐ 無	年度ごと見直し社内周知した
	環境経営計画			
	実施体制		☐ あり / ☒ 無	本年変更なし
	手順書など		☐ あり / ☒ 無	本年変更なし
10項環境関連法規のページを見直し			10ページ見直しを行った	

【総括】

CO2総排出量は、目標に対し大幅に削減となった、車輛の使用状況の変化・移動条件の変化によるものか、総排出量の約70%を占めるガソリンの使用量が大幅に削減されたことが全体排出量の削減に繋がったものである。次年度での削減は、厳しいものと思われるが、再度教育・指導を行い活動を更に活性化させる。

【今後の見直し・指示】

- 1、継続して総CO2排出量の95%を占める、ガソリンならびに電力の使用量削減に特化した活動を指示する
(特にガソリンについては、情勢不安もありガソリン価格高騰となり、極力使用量の削減をさせる必要あり)
- 2、ISO-9001の活動にあわせ年間を通じて環境に対する意識を高める指導・教育を行う
(マネジメントレビュー会議／内部監査(年2回)／経営会議(年2回)など)
- 3、地域個別の環境活動への積極的参加を検討し、脱炭素社会へ貢献する。

本、見なおし・指示事項は、各部門ミーティングの場で毎週教育・周知を行う。

2026年3月14日

代表取締役 宮尾文夫

